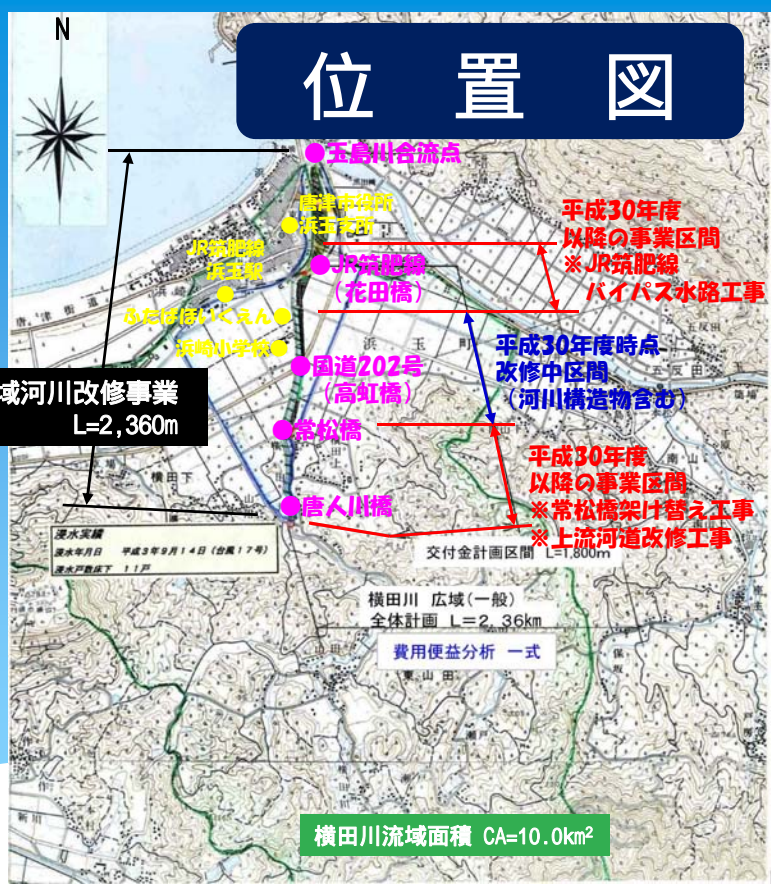


玉島川水系横田川 河川整備交付金事業 (広域河川改修事業)

唐津市

(再評価実施後5年が経過)



事業目的

流下能力不足による浸水被害が発生

平成3年9月洪水

浸水戸数 床下浸水 11戸



浸水被害の軽減を図る

- ・ 流路是正、狭窄部解消を実施
- ・ 治水安全度の向上を図る

計画流量 100 m³ / s

計画治水安全度 1 / 30

平成3年9月（台風第17号）横田川



連続雨量 175mm
最大日雨量 175mm
時間最大雨量 82mm
佐賀气象台
和多田観測所



浸水家屋 11戸



横田川広域河川改修事業 着手年：平成5年度
事業地：唐津市

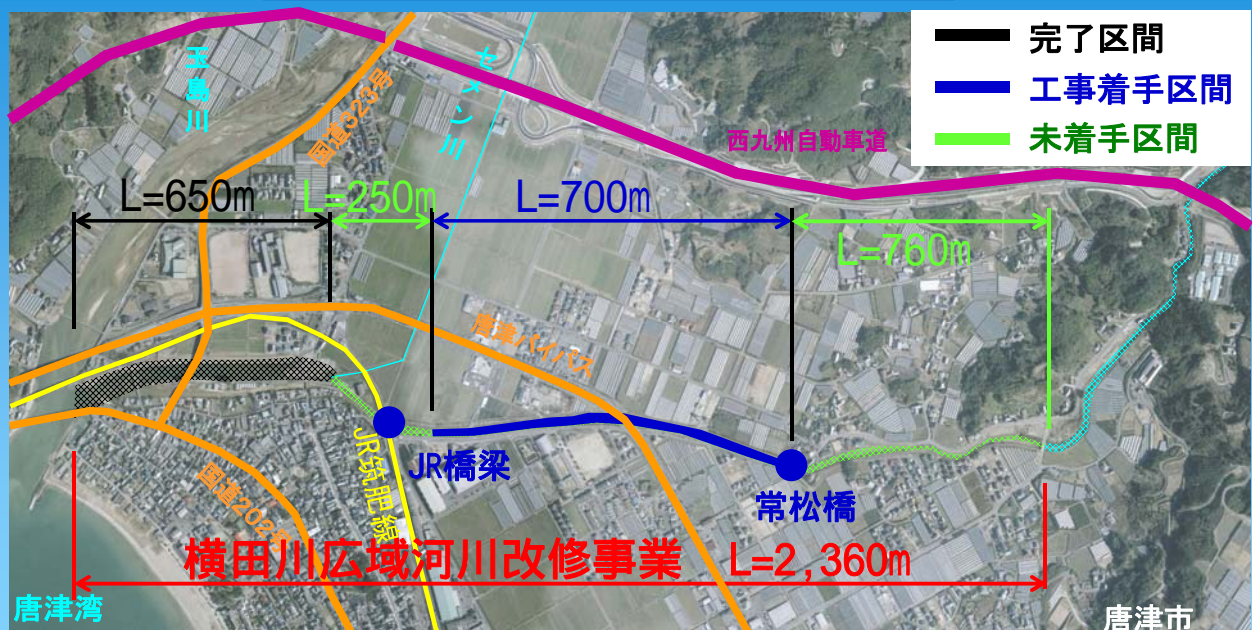
事業概要

(平成30年度)



- ・全体事業費 5,200百万円
- ・事業期間 H5～H35
- ・改修延長 2,360m
- ・計画流量 100m³/s
- ・計画治水安全度 1/30
- ・掘削・築堤・護岸、橋梁6基、JR橋1基
サイフォン1基
- ・費用対効果 (B/C) 2.9

事業の進捗状況



事業進捗状況

- ・玉島川合流点からJR橋下流までの約650mを完了
- ・JR橋梁上流から常松橋下流までの約700mの築堤工事及びJR橋梁、常松橋改築工事を進めている
- ・平成29年度末進捗率 82% (事業費ベース) ・年平均進捗率 3.3%

完了区間の状況（下流部）



未着手区間の状況（上流部）



環境に配慮した整備の実施

河川改修前（整備前）



河川改修後（整備後）



河川改修効果

- ・河道内の水の流れ（滞筋）を緩やかな湾曲により創出し、自然的な水の流れを形成する。
 - ・現況の自然環境を活かし、水際部の植生を存置する。
- 【現状の河川環境の改変を極力避ける河川改修実施】

事業を巡る社会経済情勢等の変化



西九州自動車道の整備が完了した事で、今後ますます都市化が進展しており、特に国道202号より上流は、新興住宅地の開発が著しく見受けられる。

費用対効果の要因の変化

- 工期延長及び全体事業費の増によりCが増大しB / Cの減 -

総費用額C：治水施設の整備及び維持管理に要する総費用
(建設費、維持管理費(事業完了後50年間))

総便益額B：治水施設整備によってもたらされる総便益額(被害軽減額)

・一般資産被害(家屋、家庭用品、事業所資産、農漁家資産)	8,954百万円
・農作物被害(水稻、畑作物)	115百万円
・公共土木施設等災害被害(道路、橋梁、農地等)	15,168百万円
・間接被害(事業所の営業停止被害、応急対策被害等)	1,636百万円
・残存価値	126百万円

総費用C： 8,993百万円

総便益B： 25,999百万円

費用対効果

$$B / C = 25,999 / 8,993 = 2.9$$

コスト縮減や代替案等の可能性

コスト縮減

- ・再生材の積極的利用
- ・建設副産物の有効利用
- ・JR橋改築については、大規模な工事で費用もかかるため、分水路方式によりコスト縮減

代替案の検討

- ・特になし

対応方針（事業課案）

河川改修の効果

治水安全度の向上
平成3年9月洪水による
浸水被害 11戸の軽減
地域住民の安心・安全の確保

今後の事業展開

- ・事業を継続し、早期完成を図りたい